

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コードに関する当社の取り組み」に基づき、前期に引続き取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

1 評価の方法

(1) 取締役会の実効性に関するアンケートを、記名式にて全ての取締役、監査役を実施いたしました。

① アンケート実施時期 2024年2月～2024年3月

② アンケート項目

- ・ 取締役会の規模・構成に関する事項
- ・ 取締役会の運営に関する事項
- ・ 取締役会の議題に関する事項
- ・ 投資家・株主との関係に関する事項
- ・ サステナビリティ経営に関する事項
- ・ 社外役員に対する情報提供に関する事項
- ・ 総合評価

(2) アンケートを取締役会事務局にて取りまとめ、2024年5月22日開催の取締役会において、取締役会の実効性の評価を行いました。

2 評価の結果

(1) 前期の「取締役会の実効性に関する評価」において改善すべきとされていた事項につきましては、次のように対応を行いました。

① 取締役会の規模・構成について

- ・サクセッションプランの検討を複数回実施し、社内登用や外部からの候補者の検討を協議しました。

② 取締役・監査役への情報提供の充実について

- ・経営委員会の資料及び指示・確認事項を整理した一覧表を取締役会で書面報告し、適時補足説明しました。
- ・子会社の重要事項の状況について随時報告しました。

(2) 今期の取締役会の実効性評価の結果の概要

当社取締役会は、取締役会が取締役の職務執行の監督や重要事項の決定にあたり、適切な審議や活発な議論が行われているか等の観点から、実効性の評価を行いました。

その結果、取締役会はその規模や構成、審議内容、議論の状況等から、実効性は確保されていると評価しました。

(3) 課題への対応事項

取締役会の実効性を更に向上させるための対応事項は以下の通りです。

- ① 経営幹部に係る具体的なサクセッションプランについて、指名・報酬委員会での継続協議
- ② サステナビリティ基本方針の早期策定及びそれを基に具体的な取組み施策・スケジュールの決定
- ③ 議論の質の向上のために、経営委員会での指示事項の履行状況についても、適時・適切に取締役会へ報告する体制整備

3 今後の取り組み

当社は、上記の分析・評価結果を踏まえ、取締役会の実効性を更に向上させるため課題の改善に積極的に努めてまいります。

以上